

大阪教育大学附属天王寺中学校評価資料
—生徒，保護者，教師を対象とする調査結果—

令和4年3月

(1) 調査内容

調査は、生徒、保護者、教員を対象に実施し、次の内容について回答を求めた。

【生徒・保護者用】

Q1	中学・高校の別
Q2	性別（生徒の性別）
Q3	学年
Q4	組
Q5	SSH 科目受講の有無（中学生は該当せず）
生徒：「学校のように、あなたの1学期から今までの学校生活を振り返ってどう思いますか」 保護者：「学校のようにお子さまの1学期から今までの学校生活をどう思われますか。」 1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：少しそう思う、4：そう思う	
Q6	この学校は、学校の考え方や目標をきちんと生徒に伝えている。
Q7	この学校の先生は、生徒に興味・関心を持たせるため、授業に工夫をこらしている。
Q8	この学校の生徒は、お互いを認め尊重しあっている。
Q9	この学校では、先生と生徒がよく信頼しあっている。
Q10	この学校は、生徒が成長するのにふさわしい環境である。
Q11	この学校には、困ったことや悩みがあるとき相談できる相手がいる。
Q12	私は将来の目標を持ち、それに向けて努力している。
Q13	私は興味・関心を持って授業を受けている。
Q14	私は学習において、予習・復習や課題の提出などに、普段から努力している。
Q15	私はよく観察して調べたり、物事を考えたりという、探究の活動に積極的に取り組んでいる。
Q16	私は他の生徒と協力して活動している。
Q17	私は学校でまわりの人から理解されている。
Q18	私は学校で、まわりの人を大切にしている。
Q19	私は学校で、挨拶や礼儀に気を配って生活している。
Q20	私は学校の決まりごとをよく守っている。
Q21	私は学校でやりたいことができ、生活が充実している。
Q22	私は今、学校生活において心配や、悩んでいることは特にない。
Q23	私はこの学校のことを誇りに思っている。

【教師用】

Q1	中学・高校の別
Q2	性別
Q3	教職経験年数
	1 : 15年未満, 2 : 15年以上
Q4	生徒に将来の目標を持たせ、それに向けて努力させている。
Q5	探究的な活動を意識して、生徒に積極的に取り組ませている。
Q6	読解力や表現力の育成を意識して、生徒を指導している。
Q7	生徒に興味・関心を持たせるため、授業に工夫をこらしている。
Q8	予習・復習や課題の提出など、普段から生徒に努力させている。
Q9	生徒のようすをよく把握しながら指導や相談への対応ができています。
Q10	他の生徒と協力して活動するよう指導している。
Q11	人権を尊重した仲間作りを意識して指導している。
Q12	時間を意識した生活をするよう指導している。
Q13	学校にふさわしい服装を意識した生活をするよう指導している。
Q14	教室などの整理整頓や美化を意識した生活をするよう指導している。
Q15	本校の教育目標を理解して教育活動を行っている。
Q16	附属天王寺の中学生・高校生の方々に教師として関わりたいと思っている。
Q17	自分の指導目標や考え方は生徒に理解されている。
Q18	保護者への対応は自信を持ってできている。
Q19	職場環境を良くするよう努めている。
Q20	熱意を持って日々の仕事に取り組んでいる。
Q21	日常的に周りの教員と、生徒のことについて話している。
Q22	日常的に周りの教員と、教科や教育のことについて話している。

生徒・保護者及び教員ともに質問項目に、R1より変更した項目はない。

(2) 回答者数

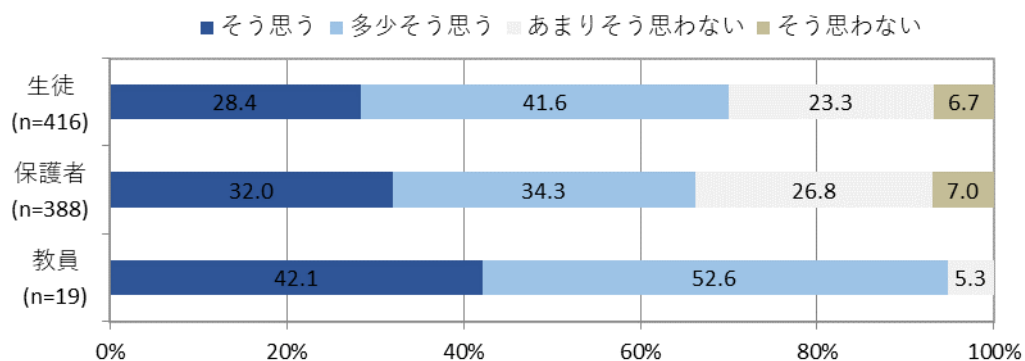
対象ごとの有効回答者数は下表のとおりである。

属性	性別			学年				合計
	男	女	無記不明	1年	2年	3年	無記不明	
生徒	207	209	2	140	141	132	5	418
(n=418)	49.5%	50.0%	0.5%	33.5%	33.7%	31.6%	1.2%	
保護者	192	198	1	135	139	116	1	391
(n=391)	49.1%	50.6%	0.3%	34.5%	35.5%	29.7%	0.3%	
教員	12	7	0					19
(n=19)	63.2%	36.8%	0.0%					
全体	411	414	3	275	280	248	6	828
(n=828)	49.6%	50.0%	0.4%	33.2%	33.8%	30.0%	0.7%	

(3) 学校生活にかかわる自己評価の（クロス集計）結果

① 将来の目標

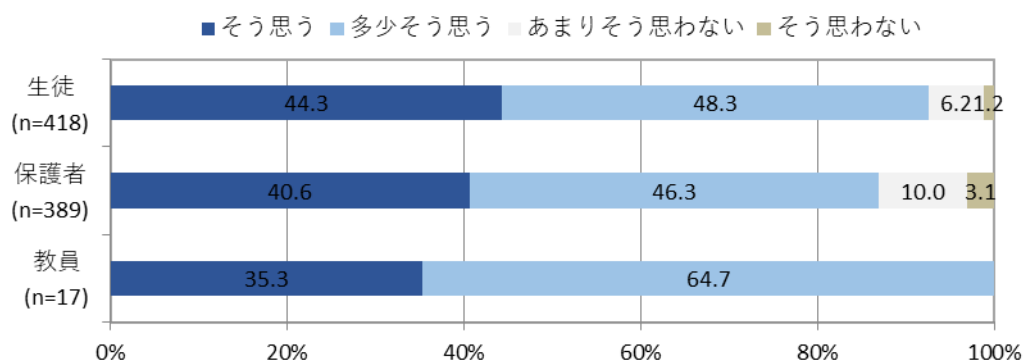
①



肯定的な回答が教員が9割半ばとなっているが、生徒は、保護者は概ね7割にとどまった。

② 授業の工夫

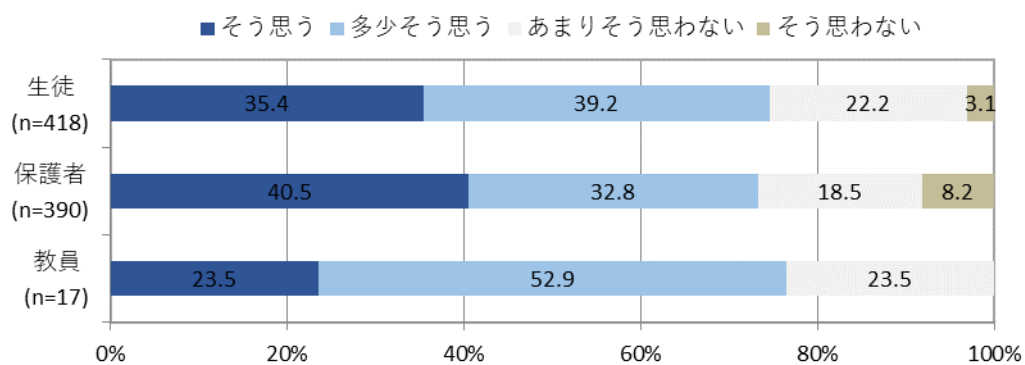
②



生徒、保護者とも肯定的な回答の比率が9割前後であったが、教員は全員が肯定的であった。

③ 予習復習

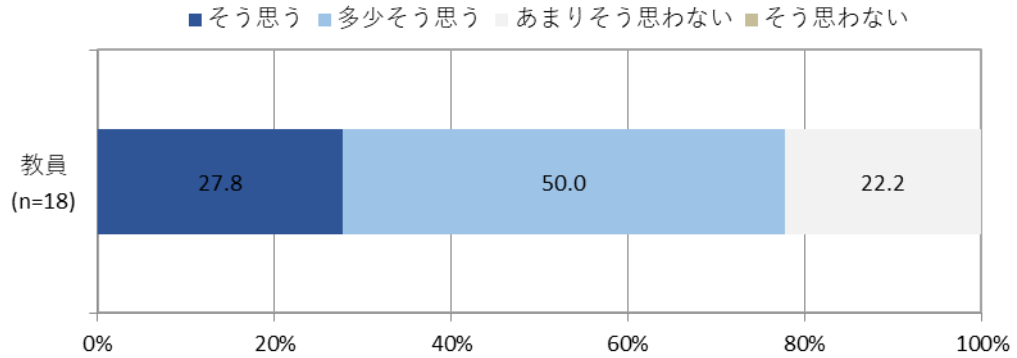
③



生徒、保護者とも肯定的な回答の比率が7割を超えており、教員は8割弱が肯定的であった。

④ 読解力や表現力*

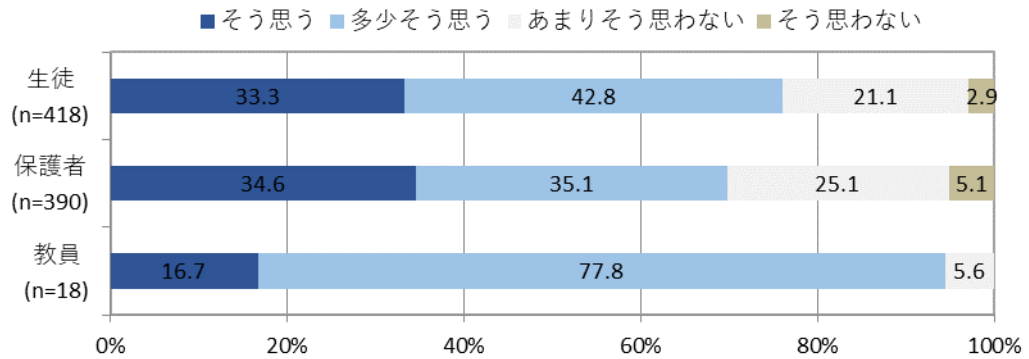
④



教員は概ね 8 割以上が肯定的だ。

⑤ 探求的な活動

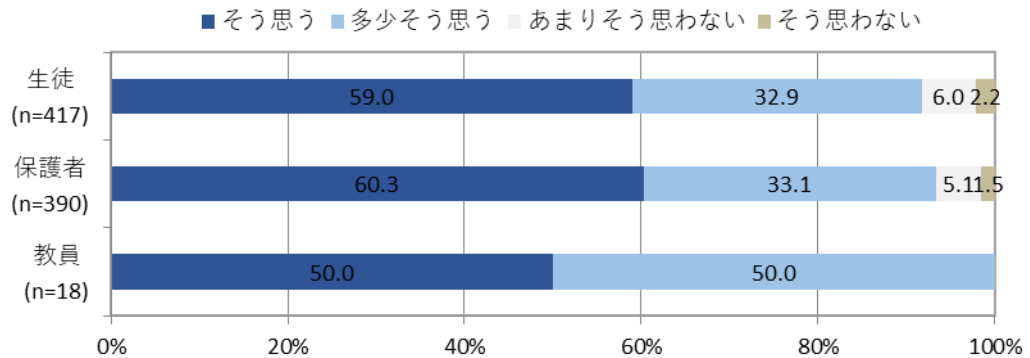
⑤



生徒, 保護者は割から 2 割が否定的な回答をしているが, 教員はほぼ全員が肯定的な回答だ。

⑥ 他の生徒と協力

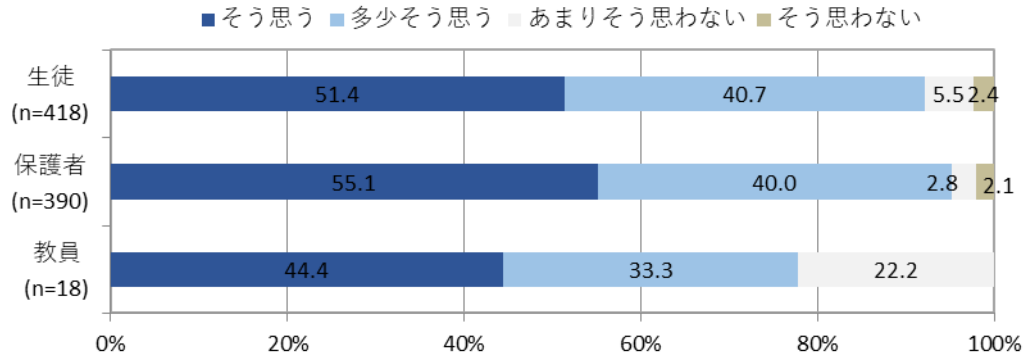
⑥



生徒, 保護者は, 9 割以上が肯定的な回答をしている。教員は全員が肯定的回答である。

⑦ 人権を尊重した仲間作り

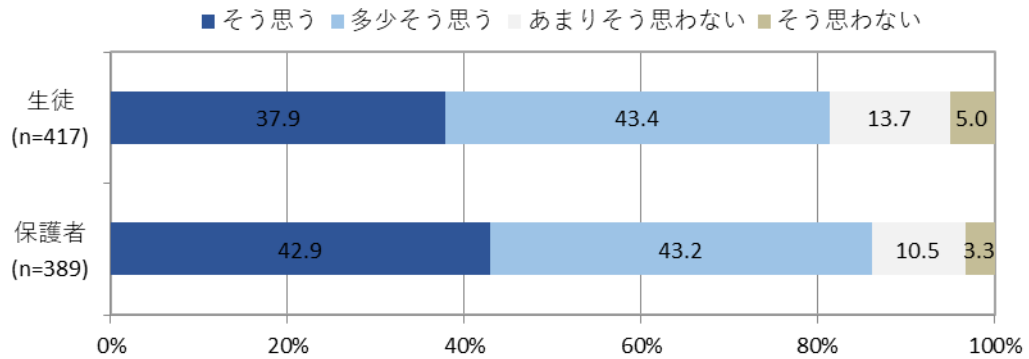
⑦



生徒、保護者が約9割が肯定的な回答をしたが、2割の教員が否定的な回答をした。

⑧ 充実した生活

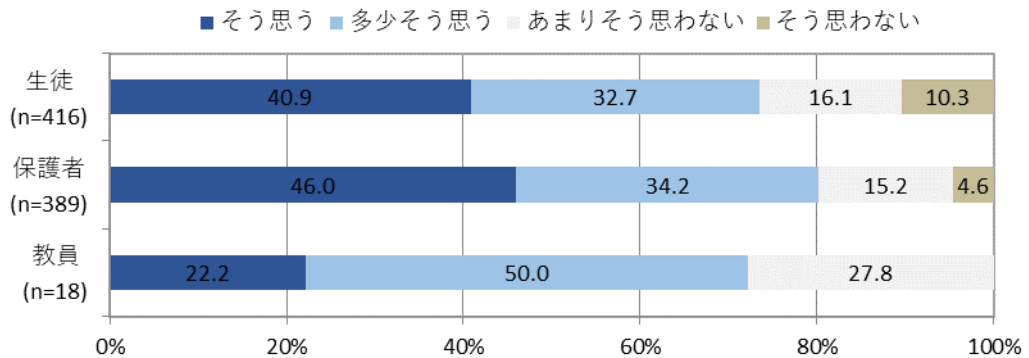
⑧



生徒、保護者の8割以上が肯定的な回答をした。

⑨ 生徒の様子への把握

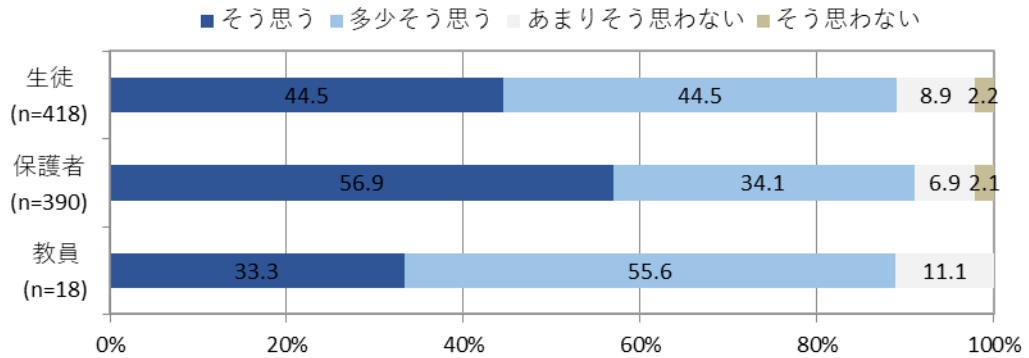
⑨



保護者の8割が肯定的な回答をしているが、生徒と教員の肯定的な回答は7割となった。

⑩ 決まりの遵守

⑩

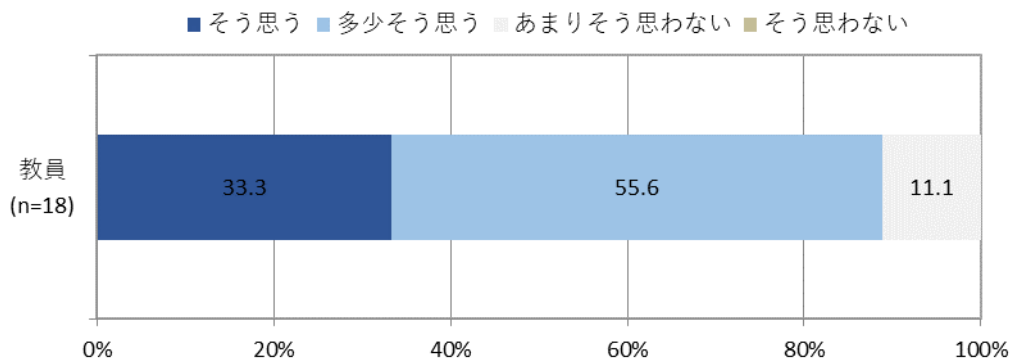


肯定的な回答が、生徒、保護者、教員ともに9割前後となっている。

注) 教員の「決まりの遵守」は、教師用の「Q12 時間を意識した生活を指導している」「Q13 身なりを意識した生活を指導している」「Q14 教室の整理整頓を意識した生活を指導している」の3つの質問に対する回答の平均で代用した。

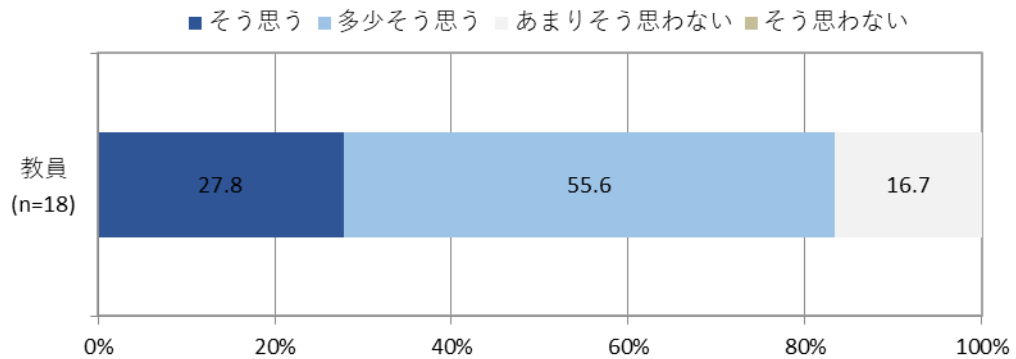
⑪ 時間を意識した生活の指導(⑩に含まれる)

⑪



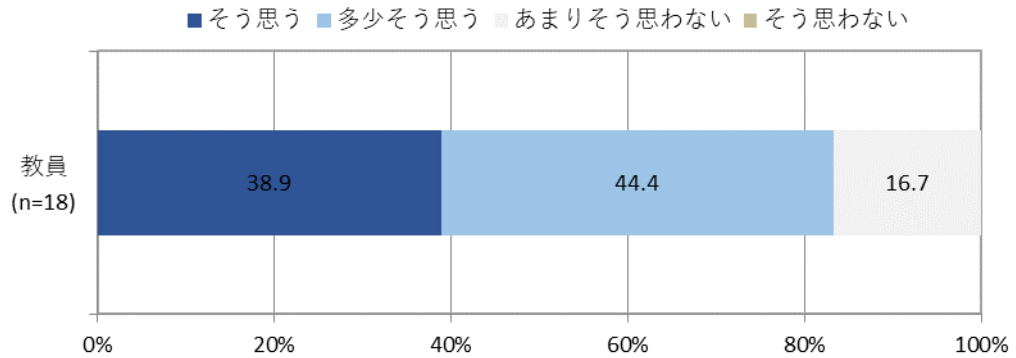
⑫ 学校にふさわしい服装の指導(⑩に含まれる)

⑫



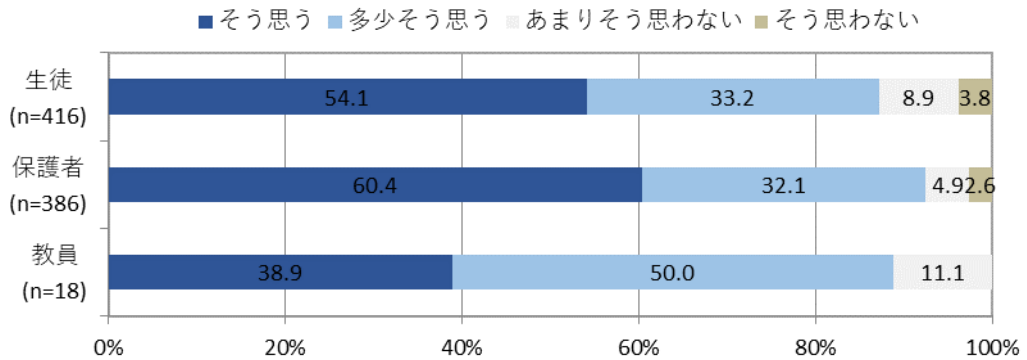
⑬ 教室などの整理整頓の指導

⑬



⑭ 学校への誇り(教員は本校の教育目標の理解)

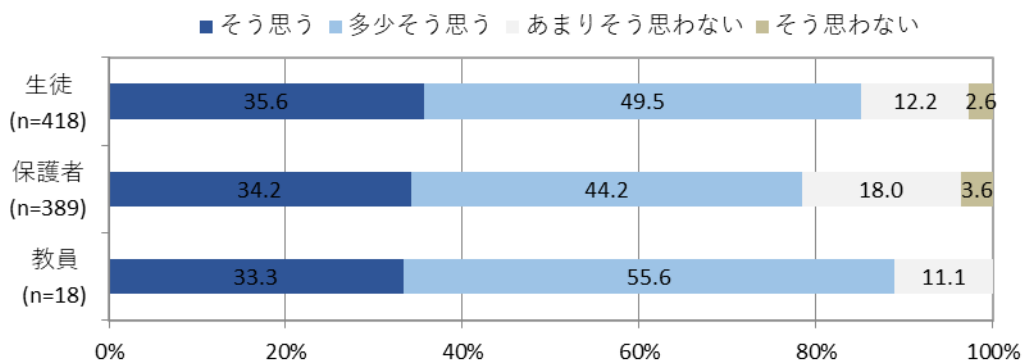
⑭



肯定的な回答は、保護者は9割であったが、生徒、教員は9割前後にとどまった。

⑮ 興味関心(教員は指導目標)

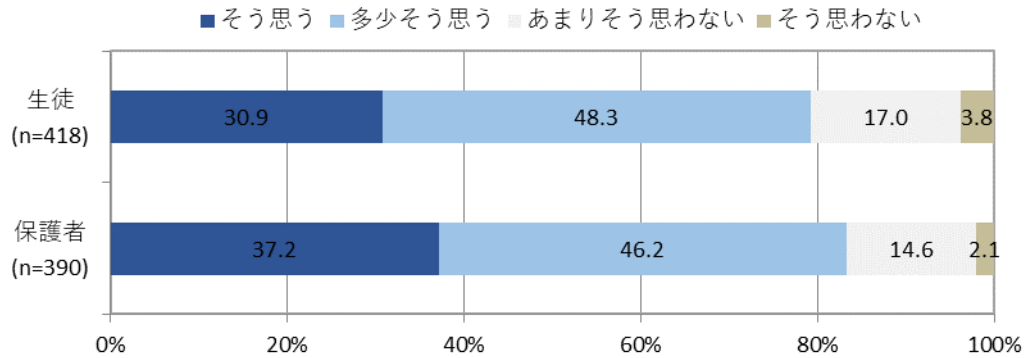
⑮



肯定的な回答は、生徒、保護者は8割前後であったが、教員は9割であった。

⑩ 教師と生徒の信頼

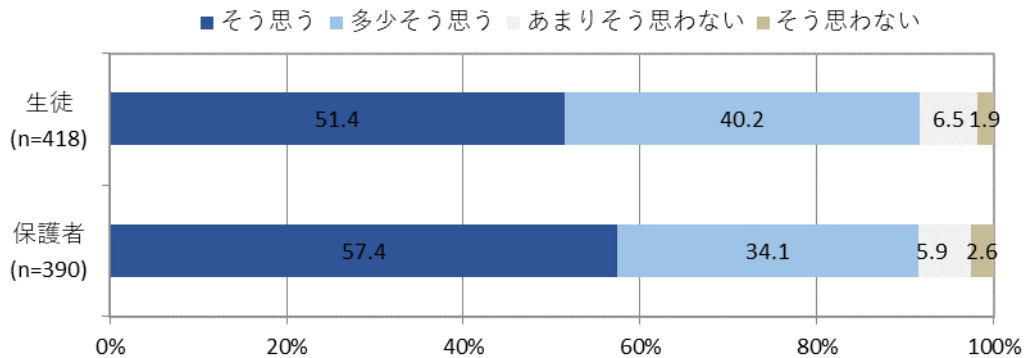
⑩



生徒、保護者ともに、肯定的な回答が8割であった。

⑪ ふさわしい環境

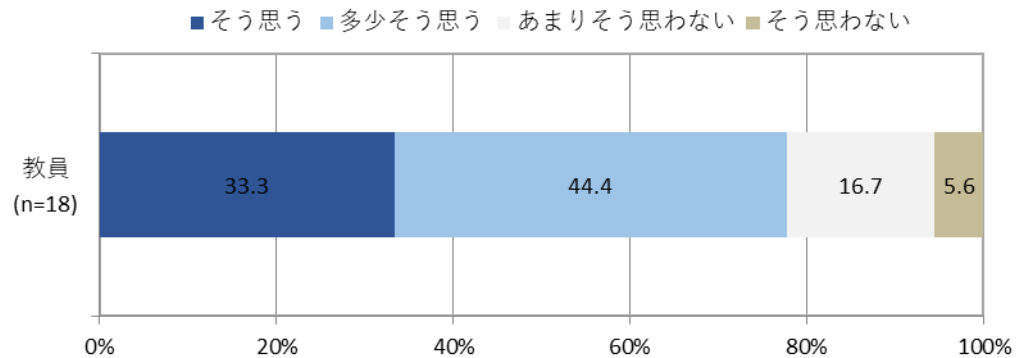
⑪



生徒、保護者ともに、肯定的な回答が9割であった。

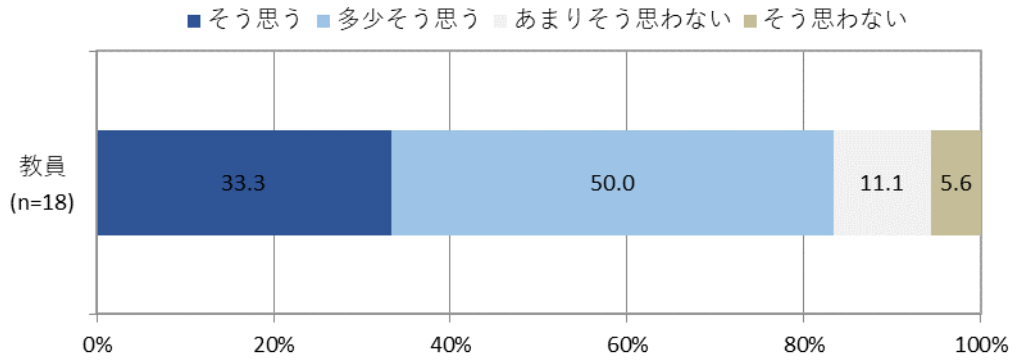
⑫ 保護者に自信を持って対応しているか(教員)

⑫



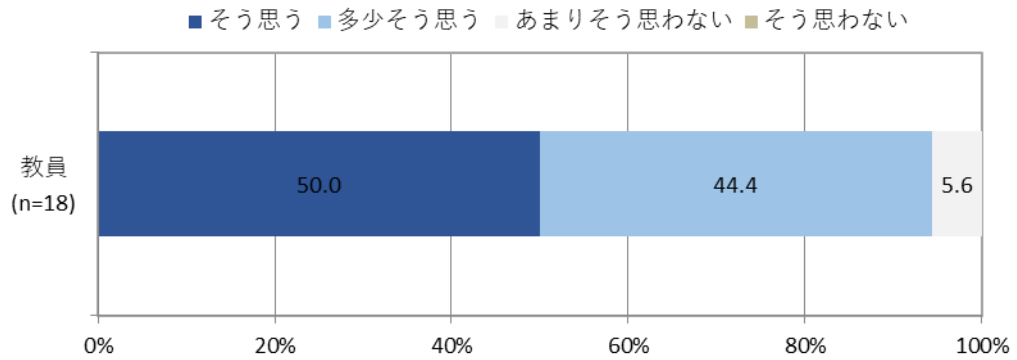
⑱ 職場環境を良くするために努めているか(教員)

⑱



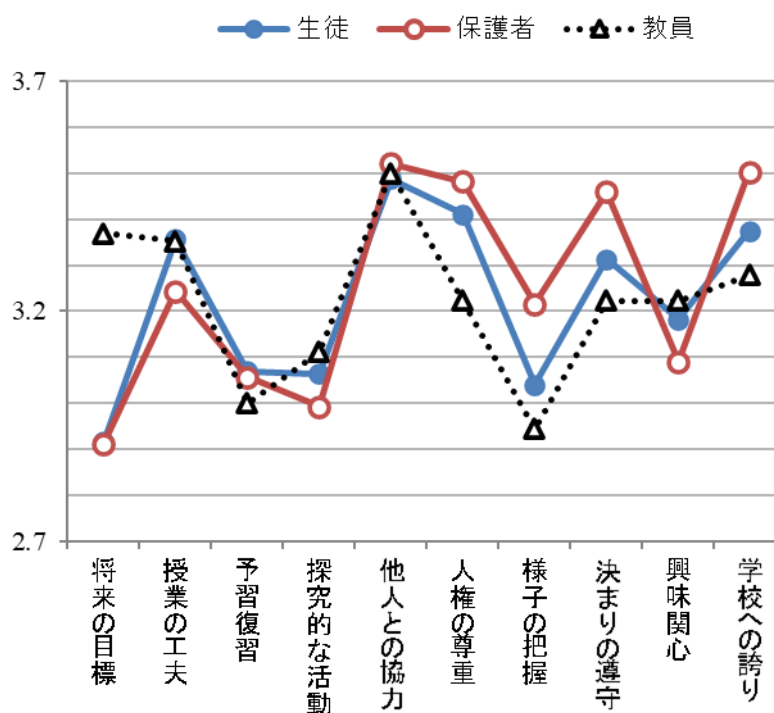
⑳ 熱意をもって日々の仕事に取り組んでいるか(教員)

⑳



(4) 学校生活にかかわる自己評価の比較

① 生徒，保護者，教員間比較

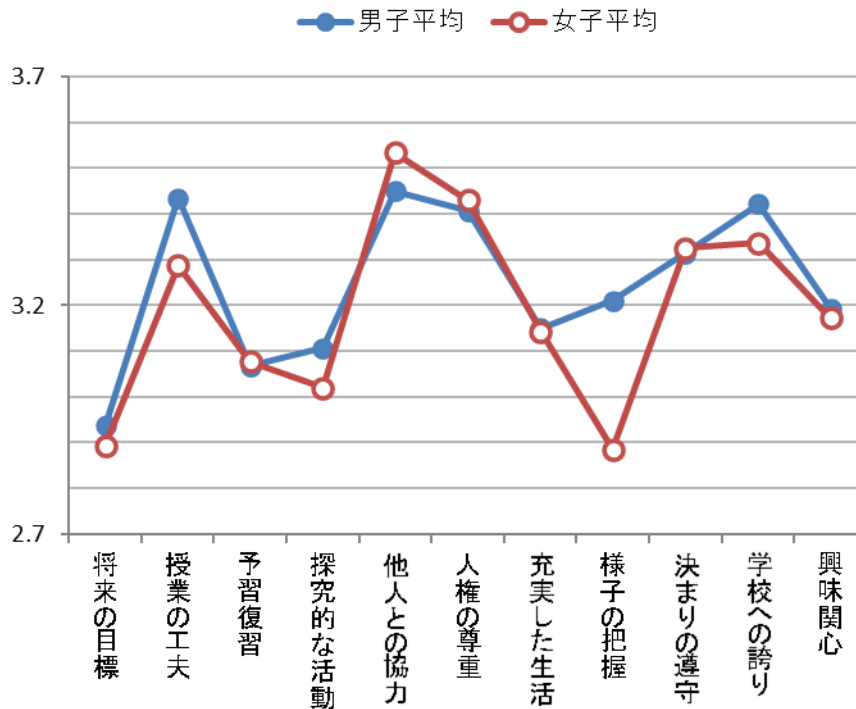


項目	生徒	保護者	教員	F値	有意水準
将来の目標	2.92	2.91	3.37	2.37	
授業の工夫	3.36	3.24	3.35	1.60	
予習復習	3.07	3.06	3.00	0.06	
探究的な活動	3.06	2.99	3.11	0.73	
他人との協力	3.49	3.52	3.50	0.14	
人権の尊重	3.41	3.48	3.22	1.17	
様子の把握	3.04	3.22	2.94	4.16	p<0.05
決まりの遵守	3.31	3.46	3.22	2.94	
興味関心	3.18	3.09	3.22	1.13	
学校への誇り	3.38	3.50	3.28	2.28	

「将来の目標」から「学校の誇り」までの10項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして，生徒，保護者，教員の各項目に対する回答の平均を算出し，平均の差の推計に一要因分散分析を施した。

その結果，「様子の把握」の項目に有意差が認められた。全体をみると2つの項目では生徒が，5つの項目では保護者が，3つの項目では保護者のポイントが高かった。

② 生徒の性別による比較

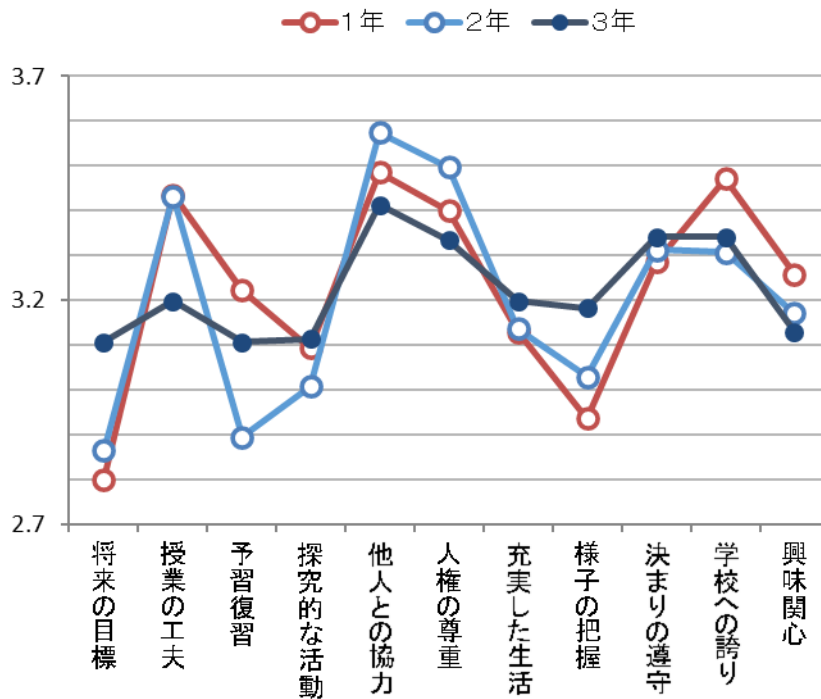


	男子平均	女子平均	t 値	有意水準
将来の目標	2.94	2.89	0.49	
授業の工夫	3.43	3.29	2.33	p<0.05
予習復習	3.07	3.08	0.11	
探究的な活動	3.11	3.02	1.10	
他人との協力	3.45	3.53	1.22	
人権の尊重	3.41	3.43	0.36	
充実した生活	3.15	3.14	0.08	
様子の把握	3.21	2.89	3.38	p<0.01
決まりの遵守	3.31	3.33	0.16	
学校への誇り	3.42	3.34	1.09	
興味関心	3.19	3.17	0.29	

生徒の性別ごとに、「将来の目標」から「興味関心」までの11項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして平均を算出し、平均の差の推計のために対応のないt検定を施した。

その結果、「授業の工夫」、「様子の把握」の2項目で性差を認めることができた。有意差の認められた項目においては男子のポイントが女子より高く、授業中の指導や学校生活の様子の把握に対して男子が充実したものと感じていると考えられる。

③ 生徒の学年による比較



	1年	2年	3年	F値	有意水準
将来の目標	2.80	2.86	3.11	4.550	p<0.05
授業の工夫	3.44	3.43	3.20	6.026	p<0.05
予習復習	3.22	2.89	3.11	5.684	p<0.05
探究的な活動	3.09	3.01	3.11	0.670	
他人との協力	3.49	3.57	3.41	1.810	
人権の尊重	3.40	3.50	3.33	1.868	
充実した生活	3.13	3.14	3.20	0.275	
様子の把握	2.94	3.03	3.18	2.142	
決まりの遵守	3.29	3.31	3.34	0.196	
学校への誇り	3.47	3.31	3.34	1.624	
興味関心	3.26	3.17	3.13	1.060	

「将来の目標」から「興味関心」までの11項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして，各学年の生徒の各項目に対する回答の平均を算出し，平均の差の推計に一要因分散分析を施した。

その結果，3項目で学年ごとの平均値に有意差は認められた。包括的に学年を比較すると，1年生で最もポイントが高い項目が1年生3年生で4項目，2年生で3項目であった。

④ 生徒の学年毎の組別比較

1年

項目名	1組	2組	3組	4組	標準偏差
将来の目標	2.57	2.84	3.09	2.72	0.19
授業の工夫	3.57	3.62	3.47	3.08	0.21
予習復習	3.20	3.30	3.25	3.14	0.06
探究的な活動	2.86	3.32	3.06	3.11	0.17
他人との協力	3.51	3.54	3.53	3.36	0.07
人権の尊重	3.66	3.46	3.16	3.31	0.19
充実した生活	3.26	3.24	3.19	2.83	0.17
様子の把握	2.77	3.11	2.94	2.92	0.12
決まりの遵守	3.40	3.30	3.19	3.25	0.08
学校への誇り	3.40	3.70	3.59	3.19	0.19
興味関心	3.26	3.35	3.25	3.17	0.07

2年

項目名	1組	2組	3組	4組	標準偏差
将来の目標	2.76	2.77	2.82	3.08	0.13
授業の工夫	3.43	3.54	3.37	3.39	0.07
予習復習	2.86	2.83	3.03	2.86	0.08
探究的な活動	2.91	3.06	3.00	3.06	0.06
他人との協力	3.43	3.69	3.51	3.67	0.11
人権の尊重	3.26	3.71	3.49	3.53	0.16
充実した生活	3.00	3.12	3.17	3.25	0.09
様子の把握	2.94	3.11	2.86	3.19	0.13
決まりの遵守	3.26	3.49	3.20	3.31	0.11
学校への誇り	3.23	3.44	3.23	3.33	0.09
興味関心	2.97	3.26	3.17	3.28	0.12

3年

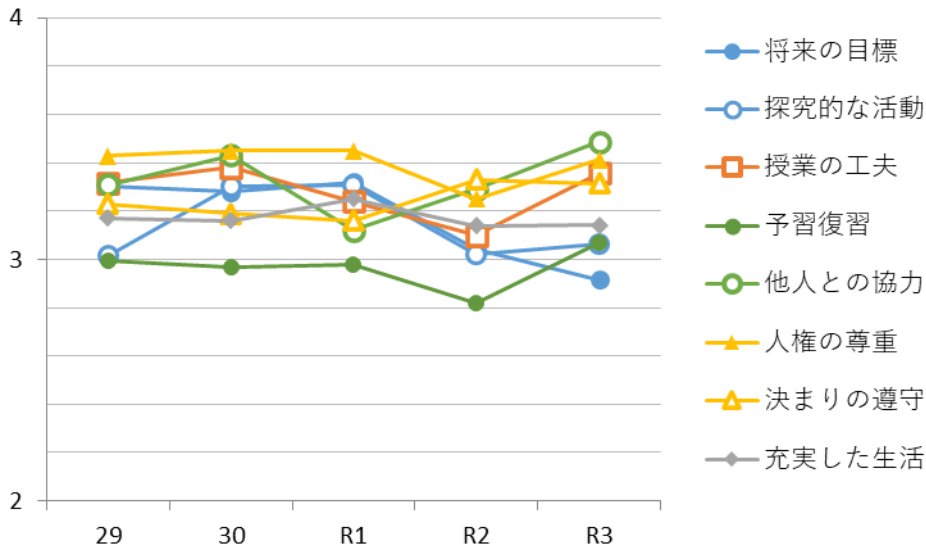
項目名	1組	2組	3組	4組	標準偏差
将来の目標	2.90	3.09	3.06	3.38	0.17
授業の工夫	3.16	3.20	3.12	3.31	0.07
予習復習	2.74	3.17	3.18	3.31	0.21
探究的な活動	2.97	2.97	3.21	3.31	0.15
他人との協力	3.23	3.54	3.35	3.52	0.13
人権の尊重	3.32	3.26	3.24	3.53	0.12
充実した生活	3.06	3.26	3.18	3.28	0.08
様子の把握	3.13	3.23	3.03	3.34	0.12
決まりの遵守	3.26	3.31	3.35	3.44	0.07
学校への誇り	3.32	3.34	3.21	3.50	0.10
興味関心	2.87	3.23	3.21	3.19	0.15

「将来の目標」から「興味関心」までの11項目に対する回答（1：そう思わない， 2：あまりそう思わない， 3：多少そう思う， 4：そう思う）を比率尺度とみなして，各学年のクラスごとに各項目に対する回答の平均値と標準偏差を算出した。

特に偏差が高い項目，学年は認められなかった。

(5) 調査項目に対する回答の年度推移

○生徒全体



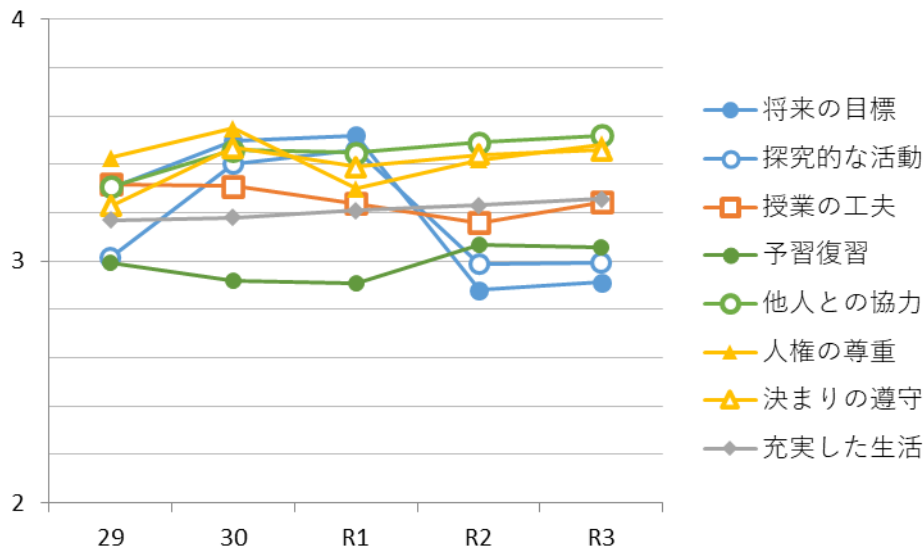
生徒

年度 項目	平成29年度			平成30年度		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
将来の目標	466	3.30	0.75	417	3.28	0.77
探究活動	465	3.02	0.80	420	3.30	0.78
興味関心と授業	466	3.32	0.77	420	3.38	0.70
予習復習努力	465	2.99	0.89	419	2.97	0.85
他者との協力	465	3.31	0.75	420	3.43	0.71
他者の尊重	466	3.43	0.72	420	3.45	0.73
決まりの順守	464	3.23	0.80	419	3.19	0.77
学校生活の充実	466	3.17	0.90	420	3.16	0.85

令和元年度			令和2年度			令和3年度		
度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
426	3.32	0.80	427	3.04	0.85	416	2.92	0.88
426	3.31	0.79	427	3.02	0.80	418	3.06	0.81
426	3.24	0.79	427	3.10	0.78	418	3.36	0.65
426	2.98	0.84	427	2.82	0.81	418	3.07	0.83
425	3.12	0.84	427	3.29	0.75	417	3.49	0.71
426	3.45	0.76	427	3.25	0.79	418	3.41	0.70
426	3.16	0.80	427	3.33	0.72	418	3.31	0.72
426	3.25	0.86	427	3.14	0.83	417	3.14	0.83

「将来の目標」、「決まりの順守」において微減が認められる。「学校生活の充実」には変化が見られない。それ以外の5項目に増加が認められる。

○保護者

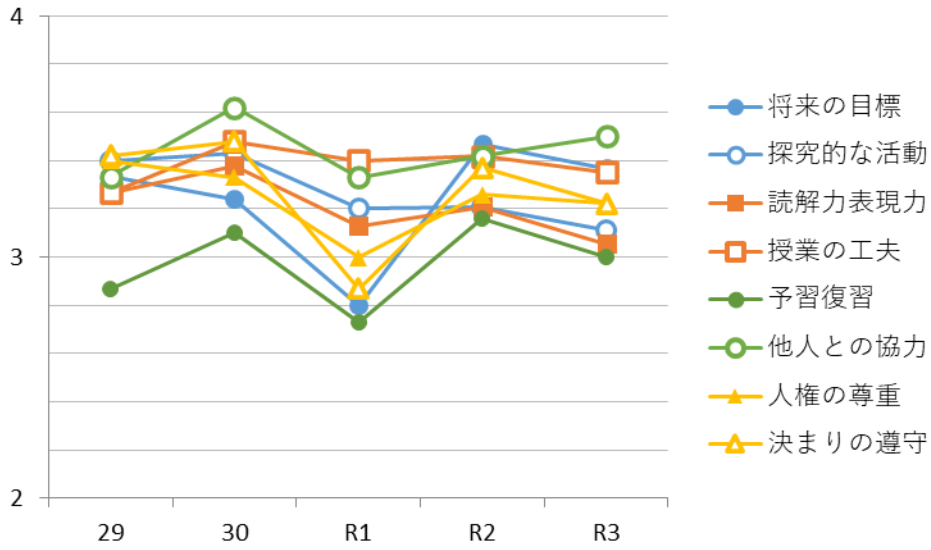


年度 項目	平成29年度			平成30年度		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
将来の目標	416	3.43	0.78	401	3.50	0.75
探究活動	416	2.82	0.88	401	3.40	0.68
興味関心と授業	416	3.36	0.73	401	3.31	0.75
予習復習努力	416	2.94	0.95	401	2.92	0.96
他人との協力	416	3.49	0.70	400	3.46	0.65
他人の尊重	416	3.57	0.62	401	3.55	0.61
決まりの順守	416	3.44	0.72	401	3.47	0.70
学校生活の充実	416	3.20	0.81	400	3.18	0.79

令和元年度			令和2年度			令和3年度		
度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
359	3.52	0.72	401	2.88	0.95	388	2.91	0.93
359	3.46	0.65	400	2.99	0.88	390	2.99	0.90
358	3.24	0.73	401	3.16	0.82	389	3.24	0.76
359	2.91	0.94	400	3.07	0.94	390	3.06	0.96
359	3.45	0.67	399	3.49	0.71	390	3.52	0.67
359	3.30	0.70	401	3.42	0.75	390	3.48	0.66
359	3.39	0.72	401	3.44	0.74	390	3.46	0.71
359	3.21	0.80	401	3.23	0.85	389	3.26	0.78

「予習復習」でわずかな減少が認められるものの、その他の項目は全て変化がないか、微増である。

○教員



教員

年度 項目	平成29年度			平成30年度		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
将来の目標	15	3.33	0.47	21	3.24	0.61
探究活動	15	3.40	0.49	21	3.43	0.49
聞く伝える	15	3.27	0.77	21	3.38	0.79
興味関心と授業	15	3.27	0.68	21	3.48	0.59
予習復習努力	15	2.87	0.81	21	3.10	0.75
他者との協力	15	3.33	0.79	21	3.62	0.58
他者の尊重	15	3.40	0.80	21	3.33	0.64
決まりの順守	15	3.42	0.61	21	3.48	0.66

令和元年度			令和2年度			令和3年度		
度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
15	2.80	0.75	19	3.47	0.68	19	3.37	0.58
15	3.20	0.65	19	3.21	0.83	18	3.11	0.46
15	3.13	0.81	19	3.21	0.83	18	3.06	0.70
15	3.40	0.49	19	3.42	0.59	17	3.35	0.48
15	2.73	1.00	19	3.16	0.67	17	3.00	0.69
15	3.33	0.60	19	3.42	0.59	18	3.50	0.50
15	3.00	0.73	19	3.26	0.85	18	3.22	0.79
15	2.87	0.88	19	3.37	0.83	18	3.22	0.63

「他者との協力」は、増加した。その他の項目は全て減少した。